

新 評 論

2020
10
No.306発行所 © 新 評 論 2020年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrn@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜

筆者の父である作家の戸川幸夫氏が1965年に発見したイリオモテヤマネコ。主に開発による生息地の破壊で個体数が減り続けている。



生物多様性を尊重し、傷ついた自然を癒やすために人間が保つべき「心の距離」とは。真摯で地道な活動の全記録!

野生動物のための
ソーシャルディスタンス

イリオモテヤマネコ、トラ、ゾウの保護活動に取り組むNPO

戸川久美

◆ジャンル:野生動物・自然環境保全/生物多様性

野生動物は本来、人間の活動と関係なく生きている。しかしたとえばインドでは、トラやゾウが通る森に暮らす村人は、夜間の外出時にしばしばこれらの野生動物と出くわしてしまうことになる。そういう時は一定の距離をとるのが鉄則となっている。これはいわば「身を守るために保つべき距離」であるが、本書がテーマとする「ソーシャルディスタンス」はこのような距離のことではない。「人間が野生動物の住む世界にできるだけ影響を及ぼさないためにとるべき距離」のことである。人間が支配も管理もできない、またすべきではない野生動物の生命と存在を尊重し、認めることの重要性、つまり「心の距離」という考え方を伝えたくて本書を著した。

本書では、筆者が理事長を務める認定NPO法人「トラ・ゾウ保護基金(JTEF)」の活動を紹介する。JTEFは二〇年以上前から絶滅の危機にあるトラやゾウ、また二〇〇九年からは西表島の生態系をつかさどるイリオモテヤマネコの保護活動を行っている。意外に思われるかもしれないが、野生動物の保護活動の多くは実は人間を対象としている。現場

で実動するレンジャー、野生動物と共に暮らす人々、商業価値のある野生動物の違法取引に手を染める業者やその裏にいるマフィア、ルールを都合よくねじ曲げようとする為政者、次世代を担う若者や子どもたちなど、多様な人々たちを相手に日々、悪戦苦闘している。

強大となった人間社会はますます陣地を広げ続けているが、新型コロナウイルスの蔓延によって改めて「大切なものは何なのか」という問いが提起されたように感じている。傷ついた自然は、野生動物の存在なしに修復することができない。地球全体から見れば、野生の世界が永続できることこそが重要であり、人間の未来もそれなしにはありえない。「トラ・ゾウ保護基金」という小さな団体が積み重ねてきたささやかな努力は、このような大きな目標のためにあることを知っていただきたい。(とがわ・くみ)

ISBN978-4-7948-1164-6 10月上旬刊

四六並製 二六四頁 予二二〇〇円

好評刊
新装合本 牙王物語

戸川幸夫著/田中豊美画/戸川久美解説

一八〇〇円

著者 認定NPO法人トラ・ゾウ保護基金(JTEF)理事長。1997年トラ保護基金、2000年ゾウ保護基金を設立、01年「野生生物保全論研究会(JWCS)」内のプロジェクトとなり、09年に独立しイリオモテヤマネコの保護に着手、現在に至る。インドでは保全対策や違法取引防止、西表島ではヤマネコの交通事故防止活動や小中学校での出前授業を行う。

人が本来持っている好奇心を刺激し、最大限に発揮することで
学ぶ喜びを増幅する33の画期的方法!教員必読の授業ガイド



レイ夫妻原作「おさるのジョージ」の主人公ジョージ(©E.A. & M. Rey/HMH)。日本では2000年代まで「ひとまねおさる」の題で親しまれた。好奇心旺盛でさまざまなことに挑戦する(本書にイラストは登場しません)

Curious George 「おさるのジョージ」 を教室で実現

好奇心を呼び起こせ!

ウェンディ・L・オストロフ／池田匡史・吉田新一郎 訳

◆ジャンル:教育

「学校での勉強は嫌なこと、苦しいこと」……このように、「勉強」や「学習」に対してネガティブなイメージを持っている児童・生徒は少なくないのではないだろうか。そして子どもたちにそのような思いを抱かせてしまっているのは、私たち大人なのではないだろうか。しかし、新しいことを知る・学ぶのは、そもそも楽しいことであるはず。本書では、学ぶことを楽しめる児童・生徒を育てるために、人間が本質的に持っているはずの「好奇心」を活用することに着目しています。いわば好奇心のおもむくまま、さまざまなことにチャレンジする「おさるのジョージ」のような学習姿勢を、教室で再現しようということ。では、どのようなすれば「好奇心に満ちた教室」を実現できるのでしょうか。この問いに答えるには、「どのような学習の文脈をつくり、どのような活動を展開すればよいのか」、「どのような点に留意したカリキュラムを組めばよいのか」、「どのような教室環境を設計すればよいのか」など、さまざまな点を考えなければなりません。本書では、それらを考えるためのヒントとなる「好奇心を活用するための33の方法」が、脳科学や心理学

の研究成果を踏まえた上で提案されています。たとえば、その中の一つに「縛られない時間を確保する」というものがあります。ある研究では、学習者が急かされることなくリラックスしているときにこそ、好奇心が解放されて創造性が発揮され、学びが最も進展するという結果が出ているのです。

学習指導要領にも謳われているように、現代はとりわけ探究的な活動が求められています。にもかかわらず実際の教育現場ではそれが十分に実現できていないのが実情です。本書はきつと、「子どもたちがワクワクする授業をしたい」と願う先生方に、たくさん刺激とヒントを与えてくれるでしょう。そして、先生自身が持っている(であろう)「好奇心」にも向き合うことになるはずです。

(いけだ・まさふみ 兵庫教育大学大学院
学校教育研究科助教/国語教育学)

ISBN978-4-7948-1162-2 10月上旬刊

四六並製 予三五六頁 予二五〇〇円

好奇心のパワー

「コミニケーションが変わる」
K・タバナー&K・ライキンス/吉田新一郎訳 二〇〇〇円

好評刊
オーブン・グマイン

「子どもの心をひらく授業」
P・ジョンストン/吉田新一郎訳 二五〇〇円

著者 Wendy L. OSTROFF ソノマ州立大学教授。専門は発達心理学、認知心理学。教員養成にも携わり、クリティカルな読み・書き・思考を重視した学際的な講義を展開。著書に『幼い子どもの学び方を理解する(Understanding How Young Children Learn)』(2012、未邦訳)など。



本書挿画より

重圧が極限に達して爆発してしまう前に…気持ちを楽にし、仲間を見つけ、子育てを楽しめるようになる最良の育児書!

子育てのストレスを減らす 10の「魔法のことば」

子育てをハックする

キンバリー・モーラン／阿部良子・吉田新一郎 訳

◆ジャンル:育児

本書を読み終えて四か月が経った今、子どもとかかわりながら、本書に出てくるマントラ（魔法のことば）を唱える場面が何度もありました。これは私にとって意外なことでした。世には数々の育児書が出ていますが、つい「本を読まなくても何とかなるさ」と思ってしまう、最後まで読み通したことはなかったからです。

なかでも私のお気に入りには、「空腹、怒り、寂しさ、疲れ（KIST）」と「決めたことは変えない」です。「KIST」は、私に余裕をもたらしてくれました。以前は子どもがひどくぐずったりするとパニックに陥ったものですが、今では「もつと遊びたかったよね、急に終わっちゃって嫌だったね」とか、「大勢の人に気をつかって、愛想を振りまいて疲れたよね」などの言葉が自然に出てくるようになりました。「決めたことは変えない」は、「一度しか言わない」と読み替えて活用しています。子育てでは、一度決めたことがなし崩しになったり、状況に応じて変えざるを得なかったりすることがよくあります。でも今では私も妻も、最初に一度だけ「こうしようね」ときっぱり言っ

て、決して変えないようにしています。

本書はとてうまく構成されていて、具体例も充実しており、ぐいぐい引き込まれます。書かれている事例を追体験しながら、面白がりながら、子育ての肝を学ぶことができます。さらに、各章ごとに「魔法のことば」をしっかりと実践するためのステップがまとめられており、読者が自分の状況に合わせてマントラを取り入れられるように促してくれまます。さらに、その過程で直面しがちな課題についてもていねいに解説されています。すばらしく効き目のある本書のマントラを活用して、ストレスから解放され、子育てを楽しめるキッカケをつかんでいただければ幸いです。

（翻訳協力者 石川英俊）

ISBN 978-4-7948-1163-9

10月上旬刊

四六並製 予二四〇頁 予二〇〇〇円

ぼくは にんげん

「おもいやりてほしいだね」

文・S・ウェルデ／絵・P・レイノルズ

二二〇円

好評刊

野球母ちゃん

「そのパワー侮るなかれ」

神川靖子 著／協力：池谷弘子

一八〇〇円

著者 Kimberley MORAN 執筆コーチ兼編集者。作家が原稿を書き上げるために必要なサポートを提供するほか、教師が授業のアイデアなどを共有するためのサイト「WeAreTeachers.com」と、管理職が活気ある学校環境を作るのに役立つ情報を提供する「School Leaders Now」の編集者として活躍している。二児の母。

メキシコ 2018~19年

国本伊代

〔新自由主義体制の変革に挑む政権の成立〕 現アムロ政権が推進する「変革の政治」。注目の話題も満載。

四六並製 二八〇頁 二五〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1156-1



カンボジア自転車プロジェクト

安田勝也

「オッサンが国際支援をはじめた!」
「できることからやってみる」。40代からの国際支援始め、笑いと涙の顛末記。

四六並製 三〇八頁 二二〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1159-2



地球に降り立つ

B・ラトゥール／川村久美子訳・解説

〔新気候体制を生き抜くための政治〕
パリ気候協定後の世界とトランプ現象の根幹をどう理解し、思考の共有を図るべきか。

四六上製 二四〇頁 二二〇〇円

共同配信他紹介

ISBN978-4-7948-1132-5



未来を創造する物語

C・ディオン／丸山 亮・竹上沙希子訳

〔現代のレジスタンス実践ガイド〕
「TOMORROW」の監督による抵抗II創造の物語への誘い。

四六並製 二〇〇頁 一八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1145-5



ことほ 寿ぐひと

ドクターファンタスティック★嶋守さやか

〔原発、住民運動、死の語り〕 対立と分断を超えて信頼・助け合い・共感の地域社会を築くための備忘録。

四六並製 三三〇頁 二四〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1142-4



脱原子力 明るい未来のエネルギー

折原利男編著／ゲスト・ミランダ・シュラーズ

〔ドイツ脱原発倫理委員会メンバーミランダ・シュラーズさんと考える「日本の進むべき道筋」講演録ほか。〕

四六並製 二〇〇頁 一八〇〇円

『毎日新聞』他紹介

ISBN978-4-7948-1146-2



あなただもインフルエンサー?

M・ナスト／小山千早訳

〔それでは稼げないよ〕 軽妙な筆致で社会をリアルに描き、全世界の30代に夢と勇気と希望を与える大人気コラム。

四六並製 二四〇頁 一八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1155-4



性的虐待を犯した少年たち

A・マーマン・O・リスベリイ／見原礼子訳

〔ボイズ・クリニクの治療記録〕
加害側の少年を癒やし、支え、再犯を防ぐ心理療法の最先端。

四六並製 三三三頁 二五〇〇円

『日本農業新聞』紹介

ISBN978-4-7948-1151-6



猫と和む

久下貴史作品集3

久下貴史 画/ジャパン・アーティスト株式会社 文

マンハッタナーのイメージから一転の嬉しいサプライズ! ほっこり「和」の作品と充実の解説で楽しいリポート旅。

A5並製 オールカラー三四頁 二七〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1160-8



オーデュボンの鳥

ジョン・ジェームズ・オーデュボン

『アメリカの鳥類』セレクトジョン

圧巻の北米野鳥画集・鳥類学最高傑作を小型版・オールカラーで!

A5並製 二二二頁 二〇〇〇円

『朝日新聞』他紹介

ISBN978-4-7948-1138-7



野蛮への恐怖、

文明への怨念

T・トドロフ/大谷尚文・小野 潮訳

『文明の衝突』論を超えて「文化の出会い」を考える。異質性排斥の集団的感情の蔓延を断ち切り共存の形式を探る。

A5上製 三三八頁 三五〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1154-7

あまのいわと
天岩戸神話を歩く

みやのゆきこ

『高千穂から戸隠へ』神話の謎を追

い、地元の暮らし・風習・文化に触れながら往く、徒歩にこだわった旅案内。

四六並製 二五六頁 二二〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1158-5



フィンランド公共図書館

吉田右子・小泉公乃・坂田ヘントネン重希

『躍進の秘密』フィンランドの知識の森にようこそ! 各地の公共図書館を通してみるこの国の秘密。

四六上製 二七二頁 二五〇〇円

『日本経済新聞』書評

ISBN978-4-7948-1139-4



夢授業

北九州キャリア教育研究会編

『大人になるのが楽しくなる、もうひとつの授業』子どもが一番受けたかったキャリア教育は、地域の大人が参加したくなる授業。

育は、地域の大人が参加したくなる授業。

四六並製 二八八頁 二〇〇〇円

『朝日新聞(福岡版)』紹介

ISBN978-4-7948-1153-0



あなたの授業が

子どもと世界を変える

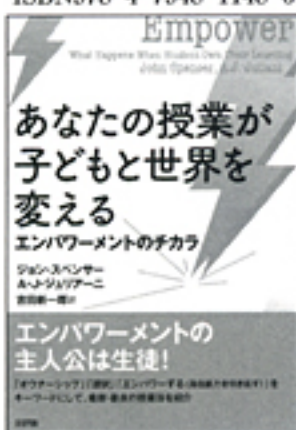
副: スペンサー・アーノ/吉田新一郎訳

『エンパワメントのチカラ』「権限」「選択」「主体性」を軸とした最新・最良の授業法!

四六並製 二二八頁 一八〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1148-6

今だからこそ
子どもと発の学びを

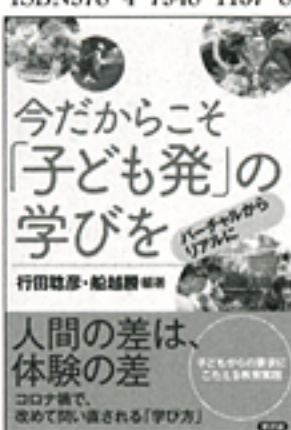
行田稔彦・船越 勝編著

『バーチャルからリアルに』コロナ禍での発見に基づき、子どもの学びへの要求に応える教育実践を紹介。

四六並製 四〇〇頁 二六〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1157-8



栗原康『奨学金なんかこわくない!』『学生に貸金を』完全版

じっくり学ぶ場がなぜ必要か

■評者 岡田憲治(専修大学法学部教授)

この書評はキツイ。奨学金債務者の栗原氏は教育の病をえぐり、真の知を問うが、私はまさにその磁場にいる「常勤」教員だからだ。

大学の「非情金(非常勤)」は過酷で、私も不惑直前に年収百万円のオケラだった。でも奇跡的に職に就き四十五歳で民間奨学金を返済し切った。だから氏の憤りを共有しながら、ただの僥倖で苦境から脱したという「疾しい」気持ちにぬぐえない。

書名から本書がひたすらゼニ金の話に終始しているかと言えは違う。「借りたものは返せない!」「学生に貸金を!」

というシュプレヒコールの足元には、「じっくりものを考えた者たちが集まる場が何故必要なのか?」という根源的な問いがある。それは、ひたすら今日の資本の要請に迎合する「奴隷再生産」路線を走る国と大学への攻撃の根拠だ。

この十年急速に大学の授業に侵入してきた企業活動に役立つ「問題解決能力」「情報処理能力」「コミュニケーション能力」(キャリア教育)項目は、大学の風景変化と連動している。タテカンもピラもない清潔なキャンパスだ。だが、古より「学ぶ者たちの組合」だったウニベルシタス(大学の語源)は、

怪しい連中として訝られ差別された者の場であり、そんなに安易に社会と友好する存在ではなかった。

『東京新聞』2020年6月6日

大学は社会貢献せよとされ、それを誰も疑わない。しかし、学ぶ者(教員も学生も)とは原理的に「反社会的」存在でなければならぬ。学ぶとは、己の社会や居所すら突き放して見ることだからだ。だから大学は、氏が喝破するように「(社会貢献などと無縁な)不穏かつ悪意に満ちた場」、それゆえに担保される豊穡なる「発見」が行き交う、自由な空間でなければならぬ。実社会で役に立たないこと

「だけ」をする、部外者すら含む若者が勝手な時と場で溜まり過ぎ風景のない、借金漬けの若者が俯く「デオドラント」された大学は、自分でものを考える人間の避難場所足り得るのか。かつてのキャリア教育担当の日々が悪夢として甦る。中にいてもそのツマラナさは耐えがたいものだ。もう一冊 栗原康著「村に火をつけ、白痴になれ 伊藤野枝伝」(岩波現代文庫)

奨学金なんかこわくない!

栗原康

『学生に貸金を』完全版

新制度の欺瞞を徹底批判! 学費問題の必読書、待望の増補版。

四六並製 二七二頁 二〇〇〇円

プレイディみかこ氏も絶賛
ISBN978-4-7948-1149-3



本を売る

鳥本棚より

私は「趣味人の本屋」と言われる書店で動植物の棚を担当しております。

当店の動物本コーナーでは他の動物たちの書籍点数に負けじと「鳥本」が丸々1段を占めております。野鳥観察から鳥の図鑑、鳥の飼育方まで鳥にまつわる様々な書籍を展開し、著者をお招きするイベントも何回か開かせていただきました。

これは、一般的に他の動物の書籍におされがちな「鳥本」の展開を強化することで他店と差別化し、特徴のある売り場を作りたいという狙いがありますが、それ以外にも、単純に私自身が鳥を好きであることが大いに関係しております。

さて、今年の春前に新評論から『オーデュボンの鳥』の新刊の案内を受け、内容見本を拝見しました。もうこの世界で見る事ができない絶滅種の鳥たちの姿などを描いた写実的な絵が収められており、とても博物学的な書籍でした。私が注目したのはサイズや価格が手に取りやすいところ。普通ならば

「美術書」として扱われるのだろうこの本を「鳥本」としてしつかりと販売したいと思いました。

お客様にこのすばらしい野鳥画をみていただきたいという思いから、早速、複製原画展示を提案しました。書籍発売の4月中旬にあわせて、オリジナルのポストカード販売も実施することになりました。緊急事態宣言下ということでお客様にフェアを十分に楽しんでいただくことは難しい状況でしたが、ツイッターで毎日展示の様子などを発信し、店舗にお越しただくのが難しい方にも魅力を伝えられるよう心掛けました。開催期間も6月いっぱいまで約1か月延長し、さらに終了後は展示した複製原画のプレゼント企画も行いました。展示し終えた複製原画を生かして何か出来ないかと思ひ、お客様に還元することにしました。お客様も大変喜んでくださいました。まだまだ書店員としては駆け出しで、試行錯誤の毎日です。今後もお客様に様々な提案ができる売り場を作っていきたいと思っております。

書泉グランデ 佐藤洋子

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(6・13~7・25)

●書評 ●紹介 ●関連記事

- 6・13 ⑧図書新聞『奨学金なんかこわくない!』(白石嘉治)
- 6・17 ⑧読売新聞(夕刊)「旅:伊坂幸太郎の仙台」『オーデュボンの鳥』
- 6・28 ⑧日本農業新聞『性的虐待を犯した少年たち』
- 6月号 ⑧野鳥『「関さんの森」の奇跡』
⑧ナチュラルアイ『「関さんの森」の奇跡』
- 4月・6月合併号 ⑧新津図書館だより(新潟市)『ある子ども』
- 7・1 ⑧産経新聞「ビブリオエッセー 私の一冊」『あなたの知らない政治家の世界』(山田佳苗)
- 7・3 ⑧読売新聞(北九州版)『夢授業』(編者談)
- 7・5 ⑧読売新聞『オーデュボンの鳥』(岡本公樹)
- 7・8 ⑧東京新聞『脱原子力 明るい

未来のエネルギー』(編者談)

- 7・15 ⑧学校図書館速報版『教科書をハックする』
- 7・17 ⑧朝日新聞(福岡版)『夢授業』
- 7・25 ⑧図書新聞『奨学金なんかこわくない!』(森元斎)

9月の増刷

18刷出来!
ISBN978-4-7948-0291-0



あなた自身の社会
「スウェーデンの中学教科書」
高橋源一郎氏絶賛!「教科書を
読んで勇気をもらえるなんて!」
A5並製 二二四頁 二二〇〇円

アフリカ・インド・クワダスト / 川上邦夫訳

本を読む

野蠻への恐怖、文明への怨念
 全世界的な「出口なし」の状況、その要因も明確に分からず、ましてや有効な解決策も考えることが出来ない現状。本書がその全面的な解決の処方箋とまでは言わないが、西欧近代が抱える課題に真摯に対峙していることは確かだ。

(横浜市 近藤幸一 72歳)

あなたの知らない政治家の世界
 わが国の若手政治家に特に勧みたい。主権在民を支える公僕としての政治家の存在意義や、真のデモクラシーについて考える良き資料。経済格差が広がり過ぎるとデモクラシーは死んでしまうこと、少数意見の取り入れ方などを学んだ。(南魚沼市 介護福祉学校講師 大澤澄男)

だれもが「科学者」になれる!
 いくら工夫しても、結局は教科書通りに進めるしかないのが理科授業の現状。自由なようで自由でない。限界がある、工夫しても無駄なのではという思いがどこかにありました。でも、この本で「探

究理科」を知り、自分が求めていたものだと思いました。学習指導要領とうまくリンクさせつつ、「探究理科」を実践したいです。
 (小平市 教員 沼尻淳 39歳)

教科書をハックする
 これまで学校教育では、教科書があるのが当たり前で、その使用もまた当然の前提とされてきた。本書はそこに一石を投じ、よりワクワクする授業(生徒も教師も)を作っていく方法を示しており、新たな可能性を感じさせてくれた。
 (横浜市 公務員 小岩井 僚 33歳)

好評刊

あなたの知らない政治家の世界
 (スウェーデンに学ぶ民主主義)
 C.ワリン/アップルヤード和訳 三三〇〇円

「関さんの森」の奇跡
 (市民が育む里山が地球を救う)
 関啓子 二四〇〇円

だれもが「科学者」になれる!
 (探究力を育む理科の授業)
 C.ピアス/門倉正美・白鳥信義 吉田新一郎訳 二四〇〇円

教科書をハックする

(21世紀の学びを実現する授業のつくり方)
 R.コセツ・レント/白鳥信義・吉田新一郎訳 二四〇〇円

編集部から

『牙王物語』など数々の傑作をものし、「動物文学」を確立した作家・戸川幸夫氏。イリオモテヤマネコの発見者としても知られます。新刊『野生動物のためのソーシャルディスタンス』は、父・幸夫氏の遺志を継いで野生動物の保護活動が続ける戸川久美さん渾身の力作。今次のコロナ禍で見出された「社会的距離」の概念を地球規模でとらえ直します▼京都精華大学学長ウスビ・サコ氏はマリ共和国出身、アフリカ系として初めて日本の大学の学長となった人物です。そのサコ氏が「西洋文化至上主義を脱し、自国文化を再発見させてくれた」(『ニューズウィーク日本版』8/11・18号)と絶賛する『アフリカのいのち』は、マリの文化と価値観を知るための必読書です。在庫僅少ゆえお求めはお早めに。

営業部から

- ▼直近3ヶ月(2020年5月~7月)弊社のアマゾン売上ベスト15をご紹介します。
- ① たった一つを変えるだけ
 - ② 地球に降り立つ
 - ③ スウェーデンの小学校社会科の教科書を読む
 - ④ ギヴァー 記憶を注ぐ者
 - ⑤ 増補版 作家の時間
 - ⑥ だれもが「科学者」になれる!
 - ⑦ 20代で身につけたい働き方の基本
 - ⑧ AO・推薦入試の黄本
 - ⑨ あなた自身の社会
 - ⑩ 読書家の時間
 - ⑪ 宿題をハックする
 - ⑫ スウェーデンに学ぶドキュメンテーションの活用
 - ⑬ 虚構の「近代」
 - ⑭ オーデュボンの鳥
 - ⑮ 「学びの責任」は誰にあるのか

SBCC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料!各種特典あり!お申し込みを!
 当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に送付しております。
 入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくことで、全商品の中からご希望の本を1冊無料進呈する特典もございます。
 ご入会希望の方は小社HPフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにて、お名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBCC発行の「入会確認証」をお送りいたします。